

演題名	職員の節電意識における電気使用量の削減		
施設名	ライフケアガーデン湘南	(ふりがな) 発表者(職種)	(すずき えみこ) 鈴木 栄美子(看護師)
(ふりがな) チーム名	(せつでんおしえたい) 節電 教え隊		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組種別	課題達成型		
改善しようとした 問題課題	既に、全館LED照明交換(2019年11月)や電力会社の見直し(2020年10月)など 経費削減に努め改善してきたが、コロナ過や物価高騰の中でも 全スタッフの節電意識を更に高め、改革を行うことで our team で筋肉質な経営を目指す		
改善の指標と その目標値	(指 標)スタッフの節電意識の更なる改革と電気使用量の削減 (目標値)スタッフの節電意識の更なる改革と電気使用量の数値が下がり経費削減ができている		
実施した対策	◆スタッフ提案の節電アイデアの実行 ①共有部・職員用設備編 レストラン・各階廊下・エントランス等の照明・エアコンの無駄削減用パネル掲示 ②入居者居室編 エアコン温度の基準設定・床暖房の夏季使用制限・洗浄機能付き便座の待機電力削減 ◆節電Q&Aコーナー掲示板の活用 「言っても無駄」の風潮を作らない為、実現しなかったアイデアに対する回答を掲示		
改善指標の 対策実施 前後の変化	■スタッフの節電意識の調査結果 (実施前) 節電が実施できていないと感じていた 8.5%(6名/70名中) (実施後) 節電が実施できていないと感じていた 1.4%(1名/72名中)に改善 結果、電気使用量を削減することができた		
歯止めと 標準化	①全スタッフの節電意識向上が確認されたことで、特定の職員がチェックしなくてもこまめな節電を実施 ②掲示板にて引き続き節電アイデアを募集し、運営委員会の議題として審議 (同掲示板にて回答することで、相互のコミュニケーションをとり節電意識の継続を図る) ③電気使用料・料金グラフを見える化し、毎月結果を共有		
活動の種類 ※複数選択可	②複数の職場が連携した活動 ③テーマに合わせて形成したチーム活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 鈴木栄美子 看護師
活動の場 ※複数選択可	②支援部門 ③管理部門 ④その他		2 金子秀紀 介護福祉士
活動期間	2024年2月～2024年6月		3 飯島 潤 介護福祉士
リーダー名 (職種)	金子秀紀(介護福祉士)		4 田村絵里 事務
活動回数	8 回		5 石那田鶴道 施設管理
			6 皆川芳彦 施設管理
			7
			8
			9
			10
			11
			12
			13

【攻めどころの設定①】

作成：R6年3月 飯島
担当：田村、金子、鈴木

★2019年11月⇒ 全館LED照明に交換

*LED照明による想定消費電力削減率：78%

根拠) 消費電力：白熱球54W・蛍光灯10W・LED電球7W
白熱球と蛍光灯の使用割合が半々として計算

★2020年度TQM活動『水道光熱費の削減』

★2020年10月⇒ 電力会社の見直しで契約プラン変更割引を実行

*割引率：▲15% (2020年～2021年単年)



5

【攻めどころの設定②】

作成：R6年3月 飯島
担当：田村、金子、鈴木

2020年度 TQM活動『今後の課題』



「職員全体を巻き込んでコスト意識を高め
経費削減を図ること」



攻めどころは

『全スタッフの節電意識の更なる改革と電気使用量の削減』

6

【目標設定】

作成：R6年3月 飯島
担当：田村、金子、鈴木

『 質の維持を保った節電の仕組み作り 』



スタッフの節電意識の更なる改革と
電気使用量の数値を下げ経費削減

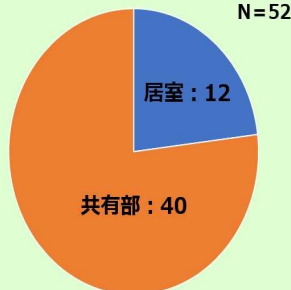
～ our team で筋肉質な経営を目指す～

7

【方策立案①】

作成：R6年4月 飯島
担当：田村、金子、鈴木

電気の無駄があると感じる場所
N=52



共有部の内訳	
レストラン・デイルーム・ステーション	26
エレベーター	5
外灯 (P/玄関)	3
ランドリ	1
厨房	3
更衣室	2

【方策立案②】

作成：R6年4月 飯島
担当：田村、金子、鈴木

◆生活の質や作業効率の低下を招く節電は

『 百害あって一利なし 』

◆ご入居者に我慢を強いることは

絶対あってはならない！

【方策立案③】 共有部・職員用設備 編

※○が3か所以上を採用
◎=良い △=何とも言いえない ×=問題あり

攻め所の候補	方策案	実現性	経済性	質の低下	採否
① レストランのエアコン・照明が不要な箇所までついている	エアコン・照明のスイッチ部に見取り図を掲示し必要箇所のみ使用できるようにする	○	○	○	採用
② 廊下の照明を常夜灯までつけている	照明スイッチパネルにどのスイッチかわかるように表示する	○	○	○	採用
③ 夜間帯の更衣室の消灯	4・5階退番のスタッフを消灯当番にする	○	○	○	採用
④ 夜間帯の駐車場・玄関の照明	電球を減らして節電する	×	○	×	否
⑤ スタッフのエレベーター使用方法	スタッフだけだった荷物がない時なるべく階段を使用したらよい	△	△	×	否
⑥ 1階来客トイレの照明が不在時でも付いたままの対策	人感センサーの導入	×	×	○	否
⑦ お風呂のタイマー機能が良いが休日も電源が入っている事がある	タイマー運用の見直し 休日前は機能を停止するようマニュアル整備をする	△	○	△	否
⑧ 太陽光発電の導入	屋上の空きスペースに太陽光パネルを設置する	×	×	○	否

【方策立案④】 入居者居室 編

※○が3か所以上を採用
◎=良い △=何とも言いえない ×=問題あり

攻め所の候補	方策案	実現性	経済性	質の低下	採否
① エアコン ①不在時でもついたまま ②高い(低い)温度設定のまま	経済温度を調べ設定温度を決める	○	○	△	条件付き採用
② 床暖房 ①不在時でもついたまま ②認知症の方は夏でもつけていることがあり、スタッフが消してもまたつけてしまう	①頻回のオンオフは電力消費が大きい ②認知症の方の熱中症予防対策が必要	○	○	△	条件付き採用
③ 室内灯・テレビ 不在時でもついたまま	ルール作り	×	△	×	否
④ トイレ ①照明がついたまま ②オムツ対応等でウォシュレットを使用しない方も電源が入っている	①利用しない時は細目に消す ②使用しない方をリストップし施設管理に設定を変えてもらう	①×	①○	①×	①否
		②○	②○	②○	②採用

11

【成功シナリオの追及と実施①】

共有部・職員用設備 編

作成：R6年5月飯島
担当：田村、金子、皆川

① レストランのエアコン・照明の見取図



見取り図を掲示し、
エアコン・照明を使用
する際に最適な個
所を明確化

③ エアコン標準設定温度



エアコンの
標準設定温度を掲示

標準設定温度
夏：26℃ 冬：22℃

※高齢者施設の基準を参照

② 廊下等の照明使用ルール表示



消灯時間を設け、
色分けシールにて
使用条件を明確化

④ 事務所のスイッチパネル表示



照明のスイッチ部に
見取り図を掲示し
明確化

12

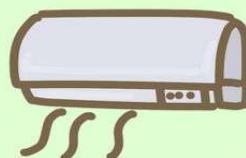
【成功シナリオの追及と実施②】

入居者居室 編

作成：R5年5月飯島
担当：田村、金子、皆川

① エアコン

設定温度の基準を設け個別対応



② 床暖房

クールビズ期間中誤操作防止・熱中症予防
として主電源を切る



③ 洗浄機機能付き便座

オムツ対応の方のみ主電源を切り待機電力をなくす



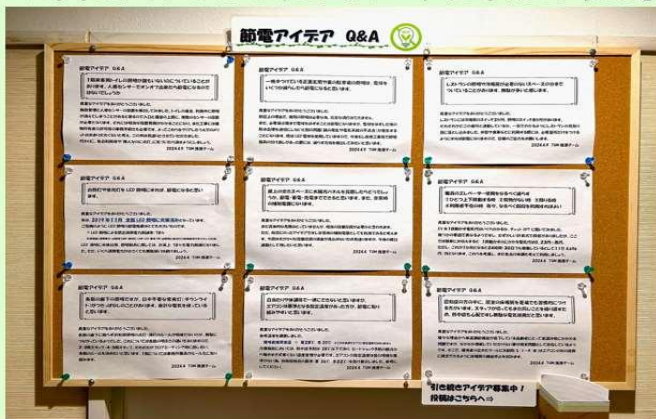
13

【成功シナリオの追及と実施③】

節電アイデアQ&Aコーナー設置

※実現出来なかった理由・今後の方針の掲示

作成：R5年5月飯島
担当：田村、金子、皆川



◆ 掲示例 ◆

- ① 来客用トイレに人感センサーを設置
- ② 屋外照明機器の電球を減らす
- ③ 職員のエレベーター使用のルール
- ④ 屋上に太陽光パネル



14

【効果の確認①】

作成：R6年6月飯島
担当：田村、金子、石那田、皆川

スタッフの節電意識 調査

(実施前) 節電が実施できていないと感じていた 8.5% (6名/70名中)
(実施後) 節電が実施できていないと感じていた 1.4% (1名/72名中) に改善



電気使用量・電気料金 前年対比 (2月～6月)

■5か月前年対比

使用量	合計(kwh)	平均
2024年	223,885	44,777
2023年	229,639	45,928
前年比	▲ 5,754	▲ 1,151
		▲3%

金額	合計(円)	平均
2024年	4,726,769	945,354
2023年	6,349,755	1,269,951
前年比	▲ 1,622,986	▲ 324,597
		▲26%

稼働	平均(人)	延べ人数
2024年	75.3	11,371
2023年	76.4	11,457
前年比	▲ 1.1	▲ 86.0
※特定・SS合計		▲0.8%

【効果の確認②】

作成：R6年6月飯島・田村
担当：田村、金子、鈴木



16

【無形効果】

作成：R6年6月飯島
担当：田村、金子、鈴木、石那田、皆川

- ◆「ちりも積もれば山となる」精神がスタッフに浸透
⇒ “こまめにコソコソ” が継続するようになった
- ◆非常時（大規模災害等の発生で電気が使えなくなった時）
⇒ 自分たちの節電行動に役立てられる

【波及効果】

- ◆浴槽へ自動止水コマ設置 ⇒ ①お湯のあふれだし防止 (=節水)
②止め忘れの不安解消



節電・節水の意識は
将来の地球の未来のために必ず役立つ



17

【標準化と管理の定着】

作成：R6年6月飯島
担当：田村、金子、鈴木

いつ	どこで	誰が	何を	どうする
使用時	共有部・職員用設備	職員全員	エアコン・照明	最適な使用をする
常時	入居者居室	職員全員	エアコン・照明	最適な使用をする
毎月	運営会議・掲示板	事務	電気使用量・料金グラフ	共有し節電に努める
常時	節電アイデアQ&A募集コーナー	職員全員	節電アイデア	募集する
新しい節電アイデアが出た時	運営会議	運営メンバー	節電アイデアの内容	検討する
新しい節電アイデアの対策ができた時	節電アイデアQ&Aコーナー	運営メンバー	節電アイデア対策の回答	掲示する

18

【反省と今後の進め方】

作成：R6年6月飯島
担当：田村、金子、鈴木

良かった点

- ① 前回の課題解消
- ② 問題の深堀り

悪かった点

- ① 数値での確認不能（メーターが1か所の為）
- ② 検証時間不足（活動時間が実質3か月の為）

今後の進め方

- ① 新しい節電アイデア ⇒ 運営委員会の議題で検討
- ② 節電アイデアQ&A ⇒ 相互のキャッチボールツールとして継続